
沼津情報・ビジネス専門学校のディプロマポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

コンピュータ科のディプロマポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

高度情報化の勢いが21世紀に入りますます強まっていく現在、コンピュータの果たすべき役割はより一層重要なものとなっている。またハードウェアが飛躍的に発達している中でソフトウェア技術者の育成は、大きな課題である。

このような中でコンピュータ科は社会のニーズに答えるため、コンピュータ全般に対して幅広い知識、技術を持つプログラマ、システムエンジニアを育成することを目標とし、そのような幅広い知識、技術を習得することを卒業の条件としている。

●プログラム作成能力

C言語を使ってプログラミングの学習を始め、WindowsプログラムとしてC#を学習し、基本的なプログラミングができる。

●Web アプリ

PHPを使ったWebアプリの学習、またデータベースとの連携を学習し、ネットワークを使ったプログラミングができる。

●システム開発

UMLを使って設計し、それに基づいてC#でコーディングすることで、設計からプログラミングまで一貫してできる。
